



















プログラム名	土っておもしろいな							
対象年齢	年中 (4~5歳)							
ねらい	メッセージ	・生き物がすんだり草が生えたりする土のはたらきに気づこう						
	発見・体感できること	・田んぼの土の感触(やわらかさ、粘り気、温度など) ・土の中にすむ生き物の気持ち						
参加者のめやす	幼児	3~40人	/	支援者	2人			
実施時間	30分							
フィールド								
	森・社寺林・公園	山・里山	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期								
自然を感じるためのヒント								
時間	活動			配慮・アドバイス アレンジ				
準備				<p>周囲の安全に留意できるよう、事前に危険な場所などをチェックしておきます。 ...稲の切り株にも目を向けましょう。</p> <p>長靴をはいた方がよいでしょう。</p>				
2分	田んぼ(休耕田)の中を、自由に歩いたり走ったりする			<p>フィールドに到着したら、自由に歩いたり走ったりして、活動の前に体を温めるとよいでしょう。</p> <p>土の感触だけでなく、土と動植物のかかわりについて発見できることもあります。 (モグラの穴、草の生えているところとそうでないところなど)</p> <p>田んぼの中に水たまりがあれば、そっとのぞいてみましょう。小さな生き物に出会えるかもしれません。</p>				
10分	さまざまな動物になりきって動く			<p>足の裏だけでなく手も使って土の感触を感じとれる動物がおすすめです。(モグラ、犬、カエルなど)</p>				
				 <p>モグラになりきって土を掘る</p>				

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
<p>5分</p> <p>8分</p> <p>5分</p>	<p>鬼ごっこをする</p> <p>長靴の裏に付いた土を取って、土団子を作ってみる</p> <p>土の感触や、土のはたらきについて話し合う</p>	<p>走ったり、こけたりして、地面の感触を体感します。つかまったら鬼になり、鬼がどんどん増えていく方法など、鬼ごっこも工夫できます。</p> <p>「足の裏、どうなった?」「さわってみようか?」などと声かけをして、土団子作りに誘います。</p> <p>長靴の裏に土が付いていることにマイナスイメージを持たないよう、「大地からのプレゼント」などと表現して、楽しく受け止められるような言葉がけをしましょう。</p>  <p>なぜそのような感触になるのか(天気の影響、草が生えているかどうかなど)も話し合ってみましょう。</p> <div data-bbox="619 1084 1343 1496" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【豆知識】 土のはたらき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物を育む...例：畑、田んぼ、森林 ・生き物の生活の場となる ...例：モグラ、ミミズ、オケラ、幼虫、バクテリアなどの小さな生き物 ・陶器などの原料となる 等 </div>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年少・年長も同様に実施できます。</p>		
<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <p>ダンゴ虫などの土壌生物を育ててみましょう。土への関心が継続し、生き物を大切にする気持ちにつながります。</p> <p>土が他の自然物に対してどのように役立っているかについて、話し合ってみましょう。</p> <p>陶芸にチャレンジしてみましょう。</p>		
<p>準備物・教材等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長靴 ・ビニール袋 	

